

# 学力の向上



当初予算主要事業 教育委員会 2,3,4,5,9,10頁 【予算額 合計 1,382,671千円】

小中学校教育課(224-2931)

社会教育・文化財保護課(224-3322)

研修企画・支援課(226-3428)

研修推進課(226-3571)

教職員課(224-2958)

学校・家庭・地域が一体となった「みえの学力向上県民運動」の一層の展開を図る中で、学校において着実に学力向上を図る体制を構築するとともに、子どもたちが「学ぶ喜び」「わかる楽しさ」を実感できるよう、教職員の授業力の向上と地域の教育力を活用した取組の充実を図ります。

## 学校における学力向上の推進

### (一部新)「確かな学力」を育む総合支援事業

【予算額 29,397千円】

▼全国学力・学習状況調査の結果について、保護者への公表、説明を進めながら、その活用を促進し、分析結果に基づく授業改善を支援

▼学習内容の定着状況を把握する「三重県到達度テスト(仮称)」を新たに作成し、すべての学校での活用を促進

▼実践推進校へ重点的に学力向上アドバイザー(5名)を派遣

▼「科学の甲子園ジュニア」三重県予選を実施

### (新)学力向上のための高校生ビブリオバトル推進事業

【予算額 1,214千円】

▼高等学校において学校司書等と協力し、ビブリオバトルを普及 ⇒ 高校生が自ら進んで読書に親しむきっかけをつくり、読書の楽しさや有益性を伝えることで、思考力・判断力・表現力等を育成

▼地域の大学や企業等と連携したビブリオバトルを開催



## 教職員の授業力の向上

### (一部新)教職員の授業力向上推進事業

【予算額 16,138千円】

▼採用前から経験11年目までの継続的支援により、若手教員の実践的指導力を向上

▼経験年数の異なる教職員が相互に学び合う継続的な授業研究を実施

▼授業研究を中心とした校内研修を企画・運営する「授業研究担当者」を育成

▼各学校で学校づくり、学級づくりを推進する中核的な人材を育成



## 地域の教育力の活用

### (新)土曜日等の教育活動推進事業

【予算額 4,211千円】

▼土曜日の授業を推進するため、効果的なカリキュラムを開発、外部人材等の活用を支援

▼土曜日等に、大学生や教員経験者、地域住民等がその知識・技能を活用して教育支援を実施 ⇒ 地域における学習やスポーツ、体験活動などの様々な活動の展開

### (一部新)地域による学力向上支援事業

【予算額 13,029千円】

▼大学生や教員経験者等地域住民の知識・技能を活用して、子どもの学力の向上を図る市町の取組を支援

▼地域の人材を学校サポーターとして活用し、補充学習や発展的な学習など子どもの学力向上を図る取組を支援

### 少人数教育推進事業

【予算額 1,313,985千円】

▼小学校1年生の30人学級(下限25人)の継続(定数25人)

▼小学校2年生の30人学級(下限25人)と36人以上学級の解消の継続(定数80人)

▼中学校1年生の35人学級(下限25人)の継続(定数55人、非常勤30人)  
※実情に応じて2・3年生への振替可

▼少人数授業などのための教員配置の継続(定数52人、非常勤235人)

## みえの学力向上県民運動の展開

### (一部新)みえの学力向上県民運動推進事業

【予算額 4,697千円】

▼推進会議委員の研修会等への派遣、ホームページ等による県民運動の発信 ▼県民運動のフォローアップイベントを開催

▼「まなびのコーディネーター」(56名)による地域の教育力を活用した「みえの学び場」づくりの推進



# グローバル人材の育成



当初予算主要事業 教育委員会 3、4、5、10頁  
【予算額 合計 86,154千円】

高校教育課(224-3002)、小中学校教育課(224-2963)  
研修推進課(226-3572)

「グローバル三重教育プランー三重から世界へ、その先へー」に基づき、グローバル社会において特に求められる3つの力(主体性、共育力、語学力)をバランスよく身につけた人材の育成に取り組みます。

## 主体性 (Independence)

さまざまな課題に対して自ら考え挑戦し、未来を切り拓いていく力

## 共育力 (Mutual-growth)

郷土への愛着と誇りを持ち、異なる文化・伝統に立脚する人々と共生・協働する力

## 語学力 (English)

国際的共通語である「英語」によりコミュニケーションを図り行動する力

児童・生徒へ様々な機会の創出

### (新) 高校生グローバル教育推進事業

〔→高〕 【予算額 49,729千円】

- ・ICTを活用した創造的な学びの実践
- ・高校生の留学の促進
- ・専門高校生による小中学生体験チャレンジ講座
- ・グローバル人材育成のモデル校事業



### 「ふるさと三重」郷土教育推進事業

〔→小・中〕 【予算額 5,583千円】

- ・「ふるさと三重かるた」の活用促進
- ・「三重の文化」を活用した授業づくり
- ・海外との交流
- ・みえ未来人(みらいびと)育成塾の開催



### (新) 小学校における英語コミュニケーション力向上事業

〔→小・中〕 【予算額 10,414千円】

- ・県オリジナルの英語教材の活用促進(全小学校)
- ・小学校における英語指導モデルの構築と普及・啓発
- ・小中学生が参加可能な英語キャンプの実施
- ・英語インセンティブの向上

### 「志」と「匠」の育成推進事業〔→高〕

【予算額 15,405千円】

「未来を拓く科学者」育成プロジェクト ・三重県高校生科学オリンピック大会の開催  
・Mie SSH校の指定 ・小中高が連携した理数教育モデルの構築

若き「匠」育成プロジェクト ・高度な資格取得に向けた大学との連携によるプログラムの開発等

「英語で世界にはばたく三重県人」育成プロジェクト  
・Mie SELHi校の指定  
・小中高が連携した英語教育モデルの構築



教職員の指導力向上

### (新) グローバル教育教職員研修推進事業

【予算額 5,023千円】

#### 課題解決力育成研修

- ・子どもたちの課題解決力を育成する指導を行うための研修

#### コミュニケーション力育成研修

- ・子どもたちのソーシャルスキル、コミュニケーション力等を育成する指導力向上研修

#### 英語指導力向上集中研修

- ・中高英語教員対象の悉皆研修(対象者:300人)
- ・ネットDE研修のコンテンツ作成、配信

Global "MIEducation" Plan

# 特別支援教育の充実

当初予算主要事業 教育委員会 10,11,12頁  
特別支援教育課 (224-2961)  
学校施設課 (224-2955)  
【予算額 合計 1,538,420千円】

児童生徒の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進し、自立と社会参加に向けた適切な指導と必要な支援の充実を図ります。

目指す姿

## 特別支援教育の推進

### ○早期からの一貫した教育支援体制整備事業【22,796千円】

- ・パーソナルカルテ推進強化市町の指定【11市町】
- ・発達障がい支援員(5名)による巡回相談の実施(7日/月)
- ・外国人児童生徒支援員(2名:ポルトガル語・スペイン語)の派遣
- ・特別支援教育連続講座(シードプロジェクト)の開催【8日間(20講座)】
- ・インクルーシブ教育システム構築事業

◇モデルスクール:高等学校 2校 ◇交流および共同学習:特別支援学校1校



## 多様な進路の実現

### ○特別支援学校就労推進事業【18,147千円】

#### ◇外部人材を活用した支援

- ・キャリア教育マネージャー(1名)、
- ・キャリア教育サポーター(6名)の配置
- ・外部人材を活用した生徒の強みと可能性を企業に提示する提案型の職場開拓の実施



#### ◇特別支援学校版キャリア教育プログラムの構築

- ・職業適性アセスメントの活用促進
- ・職業に係るコース制を導入する学校の拡大
- ・技能検定の実施(清掃・接客サービス)



自立と社会参加

## 学習環境の整備

### ○(一部新)特別支援学校教育内容充実事業【1,535千円】

- ・センター的機能充実検討会議(2回)の実施
- ・「三重県特別支援教育総合推進計画(仮称)」の策定、及び「県立特別支援学校整備第二次実施計画(改定)」に基づく整備に係る市町等関係機関との情報共有・連携



### ○特別支援学校施設建築事業【1,495,942千円】

- ・くわな特別支援学校及び杉の子特別支援学校石薬師分校の校舎増築
- ・特別支援学校東紀州くろしお学園の本校統合、松阪地域特別支援学校(仮称)及び三重県こども心身発達医療センター(仮称)に併設する特別支援学校の整備
- ・既存の施設の老朽化対策



# 安心して学ぶことができる環境づくり

当初予算主要事業 教育委員会 6,7,8,12頁【予算額 合計 2,560,960千円】  
生徒指導課(224-2332)、人権教育課(224-2732)、教育総務課(224-3301)、  
学校施設課(224-2955)、予算経理課(224-2940)

学校等における相談体制を充実するとともに、学校安全対策、防災教育・防災対策、教育費の負担軽減などに取り組むことにより、すべての子どもたちが安心して学ぶことができる環境づくりを推進します。

## 相談体制の充実・関係機関との連携

### スクールカウンセラー等活用事業 【予算額 221,626千円】

- ・スクールカウンセラーの配置
- ・スクールソーシャルワーカーの配置

### 学びの環境づくり支援事業 【予算額 25,724千円】

- ・中学校区へのスクールカウンセラーの配置による小中学校間の連携及び教育相談体制の充実・活性化  
〔15中学校区〕

### 学びを保障するネットワークづくり事業 【予算額 10,425千円】

- ・学校、保護者、地域住民等が一体となって取り組む「子ども支援ネットワーク」を中学校区の単位で構築
- ・ネットワークの要となる教員の育成支援  
〔平成24年度から平成27年度までに、計40中学校区〕

教育相談、いじめ電話相談、体罰に関する電話相談の実施

【スクールカウンセラーの配置】  
小学校(320校) 中学校(159校)  
高等学校(36校) 計515校

【スクールソーシャルワーカーの配置】  
県庁配置 7名

## 防災教育・防災対策

### 学校防災推進事業 【予算額 22,126千円】

#### 【学校防災リーダー養成事業】

- ・学校防災リーダーのスキルアップ

#### 【防災教育推進支援事業】

- ・防災マップづくり等の防災教育を支援
- ・防災ノート等を活用した防災教育

#### 【学校防災交流事業】

- ・宮城県の中学生との交流等

### 校舎その他建築事業 【予算額955,120千円】

- ・県立学校施設における老朽化対策、非構造部材の耐震対策

# 安心して学べる環境

## 学校の安全対策の推進



### (一部新)学校安全推進事業 【予算額 5,338千円】

#### 【通学路安全推進事業】

- ・関係機関が連携協力し、総合的な通学路の安全対策を推進

#### 【防犯教育実践事業】

- ・児童生徒の危険予測・回避能力の向上
- ・安全確保のための体制の整備

### (新)スマートフォンの危険から子どもを守る事業

【予算額 4,672千円】

- ・児童生徒の情報モラル等の能力、理解度を確認及び指導の充実
- ・学校・家庭・地域が協働して子どもを見守る体制の構築



○通学路安全対策アドバイザーの配置

○防犯に関する専門家によるワークショップの開催(高校)

○地域安全マップづくりの実施(小中学校)

○指導資料の作成及びネット検定の実施

○ネットパトロールに基づく指導及び啓発

○ネット啓発チームの活動

○大学生ボランティアの活動

## 教育費の負担軽減

### (新)高校生等教育費負担軽減事業

【予算額 1,315,929千円】

#### 【高等学校等就学支援金交付事業】

- ・一定基準未満の収入世帯の生徒に対して授業料に充てるための就学支援金を支給

#### 【奨学のための給付金事業】

- ・授業料以外の教育費負担を軽減するため、低所得世帯の生徒等に対して給付金を支給

#### 【学び直しへの支援事業】

- ・高等学校等を中途退学した者が再び高等学校で学び直す際、継続して授業料相当額を支給

# 子どもの体力向上

当初予算主要事業 教育委員会 12、13頁 【予算額 合計 25,878千円】  
保健体育課(224-2973)

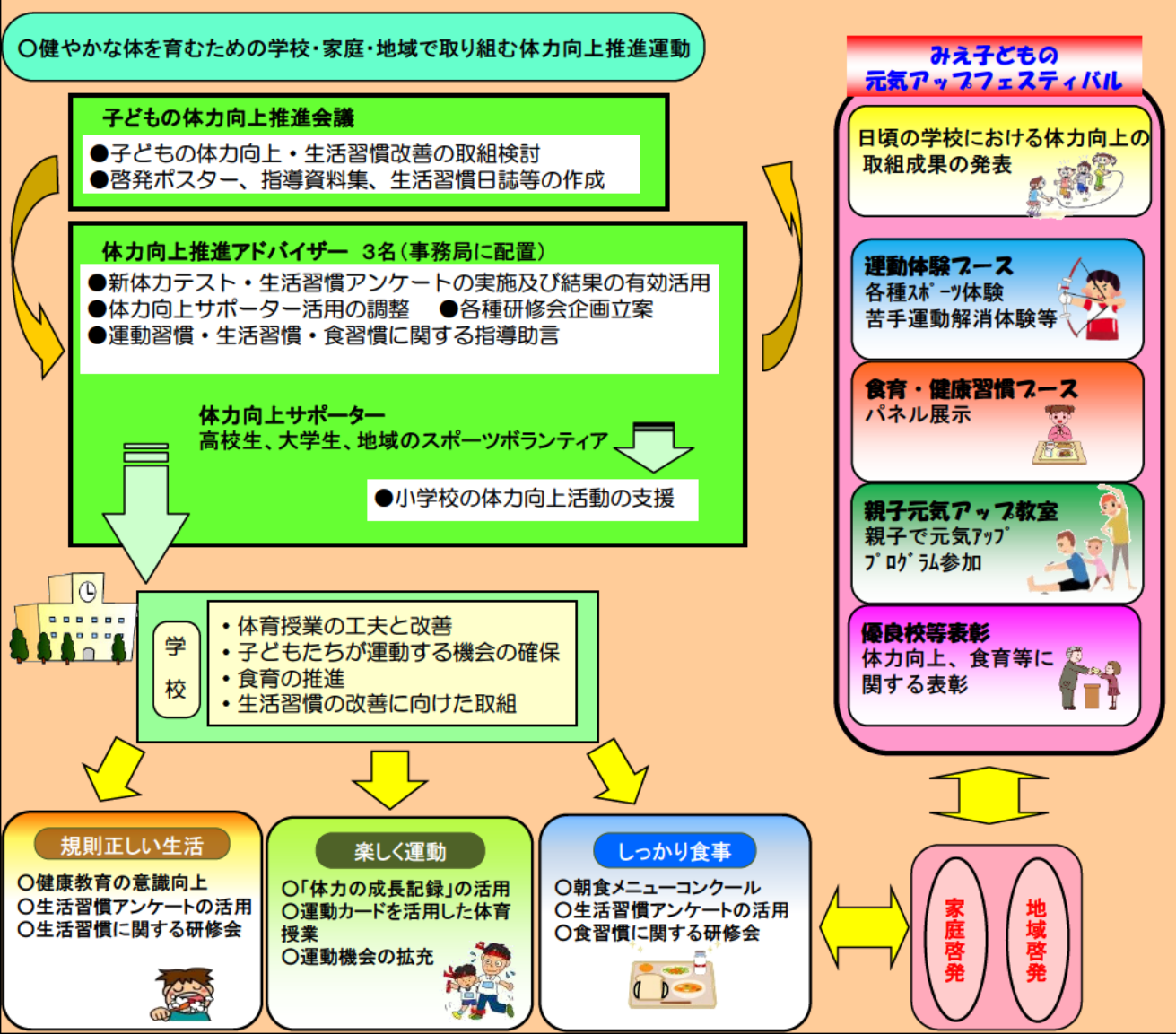
子どもたちの運動習慣、食習慣、生活習慣の改善を総合的に推進するとともに、全国高等学校総合体育大会の開催準備を進めることで、学校における体育・スポーツ活動を普及・振興し、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てます。

## 子どもの体力向上総合推進事業

【予算額：11,563千円】

## (新)平成30年度全国高等学校総合体育大会開催準備事業

【予算額：14,315千円】



# 三重の文化財を世界へ 〔海女文化の保護と世界遺産登録10周年〕

(新) 世界に誇る三重の文化財記録事業  
【予算額 合計 5,580千円】  
社会教育・文化財保護課(224-3328)  
当初予算主要事業 教育委員会 14頁

世界に誇る三重の文化財を地域の人々が守り伝えていることを記録し、発信します！

## 海女習俗映像記録作成事業

【予算額 4,300千円】

県指定文化財となった鳥羽・志摩の海女漁技術の保護・継承を図るとともに、ユネスコ無形文化遺産登録も視野に入れた映像資料を作成

### ◇鳥羽・志摩の海女漁・習俗等の記録

鳥羽・志摩の海女の操業の様子や祭・信仰、日常的に行う生活習慣や暮らしぶりなどを映像記録化し、文化財として将来へ保護・継承されるための資料として整備。

### ◇日本各地の海女漁の現状確認

鳥羽・志摩の海女漁を他地域と比較することで、その特色の明確化。

### ◇有識者による監修

文化財の記録映像として、またユネスコ無形文化遺産登録時の映像資料としても利用できるよう、大学教授等の有識者で撮影・編集を監修。

### ◇記録映像の活用

海女保存会と連携し、後継者育成のための映像テキストとして利用。さらにカット編集して教育目的やメディア等での情報発信のツールにも活用。

世界に誇る三重の  
2つの文化財

## 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録10周年記念事業

【予算額 1,280千円】

世界遺産登録10周年を迎え、さらに世界遺産の魅力や保護の必要性を多くの人に伝えるため、記念セミナーの開催と学校教育での利用も目指した電子ブックを製作



### ◇トークセミナーの開催

文化財や世界遺産の識者を講師にトークセミナーを実施  
「昔の人は何のために熊野に行ったの？」  
「なぜ、伊勢参りの後に熊野へ向かうの？」  
などの古道に対する素朴な疑問から…  
「熊野、高野山、吉野の霊場に違いがあるの？」  
「外国に同じような世界遺産があるの？」  
などの世界遺産の根源的理解に至る疑問をトークで解明

### ◇「電子ブック」の製作と提供

トークセミナーを基に編集した内容を電子ブック化し公開  
学校教育での活用を含め、電子ブックをネット上で公開し、セミナーに参加できなかった人にも書籍として無償提供。

### ◇「日本の世界遺産」パネル展の開催

世界遺産を所管する都道府県から画像やリーフレットの提供を受け、パネル展示を実施します。

